社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和03年05月17日

計画の名称	上之地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成２８年度　～　平成３２年度　(5年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	熊谷市		
計画の目標	大目標　良好な宅地の利用増進 小目標①　災害に強いまちづくりを図る。 小目標②　良好な住環境整備を図る。 上之地区は幅員４m以下の狭隘な道路とスプロール化した住宅が点在して、住環境面、交通安全面、防災面において課題を有している。このため、土地区画整理事業を実施し、都市計画道路、区画道路、下水道等の面的整備を行い、良好な宅地の利用増進を図ることを目標とする。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	750	A	750	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 （H28当初）	中間目標値 （H30末）	最終目標値 （H32末）
1	消防活動困難区域の減少			
	幅員６m未満の道路を通らず消防車が到達できる経路を算定し、そこから140m以上離れた地域を消防困難区域として算出する。	15ha	14ha	13ha
2	定住人口の増加			
	住環境の整備を行い、住民票により定住者人口を測定する。	2844人	2870人	2900人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

案件番号：　0000325403

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	熊谷市	直接	熊谷市	－	－	上之地区都市再生区画整理事業	区画整理　A=53ha	熊谷市	■	■	■	■	■	750		－
											小計						750		
											合計						750		

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
都市整備部土地区画整理事務所が担当となって事後評価を実施。 社会資本整備総合交付金がもたらした成果等を客観的に検証して今後のまちづくりの在り方を検討するとともに、事業の成果を住民に分かりやすく説明するための事後評価を実施するため、第三者の意見を求める機関として「熊谷市上之地区都市再生整備計画事後評価委員会」を設置し、目標の達成状況や今後の方針等の審議や意見聴取等を行う事後評価委員会を開催した。	令和２年度
	公表の方法
	市のホームページで公表、担当課で閲覧

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標１　目標値を達成 　道路整備の成果により、消防活動困難区域の面積が大幅に減少し、災害時の救助活動の効率性が高められた。 　また、住民、来訪者にとってもスムーズな移動が確保され、生活利便性の向上も同時に得られた。 指標２　目標値は未達成 　当地区及び市全体の人口減少が進行中である社会的背景と区画整理の進度の影響により、当地区の定住人口は増加に至らなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

・未完了の道路整備を継続し、さらなる地区内の安全性、住環境の向上を目指す。
・良好な住環境の確保に向け、区画整理事業を着実に実施し、宅地の増進を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最　終 目標値	13ha	道路整備が進んだため
	最　終 実績値	0ha	
2			
	最　終 目標値	2900人	当地区及び市全体として人口減少が進行中であることと区画整理の進度の影響があったため
	最　終 実績値	2729人	